

刑事模擬裁判員裁判体験授業をふり返って

昌平中学校 3 年生のみなさんのご意見・ご感想をお聞かせください。

- ☆ 模擬裁判を体験してみてわかったこと・気が付いたことを書いてみよう！
- ◆ 「疑わしきは被告人の利益に」を原則に弁護人も検察官も一生懸命に立証しようとしていてやっぱり頑張っていて、平等で、そして人を助けるので、いいなと思った。
 - ◆ 最初の感情とは違った答えがでた。刑事裁判の力はすごいと思った。
 - ◆ 裁判は結果が最後どんでん返しになる可能性があるかわからない。しかしそこが面白い。
 - ◆ 自分ではもう判決を決めた気でいても、検事や弁護士次第で気持ちが左右されてしまうこと。
 - ◆ 人の意見一つひとつが皆の感情を左右させて、その人の人生を良い方向へいくのか、悪い方向へ行くんだと思った。だから裁判員に選ばれたら慎重に考えて判断したいと思った。
 - ◆ 自分たちの意見が被告人の人生を変えることになるんだなと思った。あと被告人を前にしたら有罪にするのに気が引けると聞くけど、それがわかる気がした。
 - ◆ 自分の感性だけで解決できるものじゃないと改めて思った。
 - ◆ 初めは有罪でも裁判をして無罪になるということがわかった。
 - ◆ 最後の検察官の主張と弁護人の主張が意外と判決を左右させるんだなと思いました。質問することによってみえてくるものがあるって、質問するのは大切なんだと思いました。裁判の流れを知ることができました。
 - ◆ 裁判官の人や弁護士・検察の人は自分たちの判断で人の人生が変わってしまうとても大変な仕事をしていることがわかった。
 - ◆ 有罪か無罪かのミスで、一人の人生が変わってしまうんだなと思いました。一つ一つの証拠が犯人にとって利益か不利益化になるかがわかるんだな…と思いました。裁判官や弁護士や検察官は人の人生を背負っているんだなと気づきました。
 - ◆ 検察官も弁護人も有罪・無罪を決めてとなるしっかりした証拠がないといけないことがわかりました。被告人には黙秘権があるけど、黙秘すると無罪にできないこともあるのかもしれないなと気が付いた。
 - ◆ 裁判を聞いている中で自分の考えがどんどん変わっていった。初めは有罪かと少し思っていたけれど、無罪なんじゃないかと思ったり。人の意見を聞くことでこんなにも自分の意見は変わるのだと感じた。これをふまえて普段から人の話、意見を聞くべきだと改めて思った。
 - ◆ 初めて模擬裁判を体験してみて、とても緊張感がすごかった。最後の判決はどちらにするかとても迷った。グループで話し合ってみると私が思っていないような意見もでてきて有罪か無罪かとても考えた。
 - ◆ 裁判体験をして思ったことは、たくさんの意見があるということ。それに対して疑問もでてきた。そういうことで裁判ができるんだなあとわかった！緊張感のある模擬裁判だった。
 - ◆ 裁判官などの方々は本当にきちんと考えて判決を出しているのかがよくわかりました。証言などにきちんと耳を傾けて冷静に判断することが大事だと思った。
 - ◆ 他の班の意見を聞いてみて改めて考えると決定的な証拠があれば有罪になるけどそれが無いので無罪という考えになる。検察の証言と弁護人の証言どちらもわかる。
 - ◆ はっきり有罪・無罪とわかる事件じゃなかったのが、意外に判定するのが難しく大変でした。そし

て人が言っていることが本当なのか嘘なのかもわかりませんでした。(困惑した)

- ◆ B班の人がいっていたように、きちんとした証拠がないから被告人は無罪という意見を聞いて、ずっと無罪と思ってたけどやっぱり有罪なんじゃないか、とか色々思って楽しかった。
- ◆ 自分が決めた判決で一人の人生が変わってしまうので裁判がとっても大事なことがとても分かりやすかった。
- ◆ 裁判官や弁護士・検察官の人たちは被告人の人生を決めるというとても大変な職業だと思いました。またとても立派な職業だと思いました。
- ◆ 自分は裁判を体験したことがあるのですが、そのまま裁判所が移動した感覚で不思議でした。
- ◆ 有罪や無罪が半分半分に分かれていてどっちが間違っているわけではないので判断が難しかったです。
- ◆ 僕は始め有罪かと思った。しかし、最後に弁護士が僕の心をゆるがしたのですごいと思った。
- ◆ 有罪か無罪かは、証拠が足りなかったから無罪になったけど、無実か犯人かはわからなかった。灰色は白、疑いは被告人のために、が本当だとわかった。
- ◆ 自分たちの判断で被告人の人生が大きく変わることがわかった。検察の証拠がもっとあったら有罪になっていたかもしれない。
- ◆ 罪に問われた人の人生が決まってしまう選択を決める裁判員や裁判長が自分たちだったら、と考えるとすごく難しいと思った。
- ◆ 裁判を始める前は無罪では無いと思ったが、裁判をやると無罪なのではないかと思った。
- ◆ 法の強制力について気付かされた。最後の弁護士・検察官の言い合いが凄かった。
- ◆ 見ているのは簡単だけどいざ判決するとなるととても難しいということが分かった。
- ◆ 裁判官は弁護士と検察官どちらかの考えにのみ共感していけない。
- ◆ 裁判には細かな事件内容は証拠・正しい意見やたくさん必要なことが分かった。証人の意見によって判決が大きく左右されることがあると思った。
- ◆ それぞれの意見を聞くことができ普段以上に話し合いに集中することができました。
- ◆ ドラマとかで見たよりも緊張感があってすごいと思いました。
- ◆ 自分は有罪だと思っているのに、有罪にできる証拠がなかったり、逆に無罪にできる証拠がたくさんあったり、また他の人と意見が違ったり…。でも他の人と意見を交換することによって自分の新しい考え方が生まれたりするのではないかと思いました。
- ◆ 有罪か無罪かを決めるのがこんなにも難しいと思わなかったです。裁判員裁判の行い方は理解していても、内部のことまで知らなかったなので、本当に良かったです。
- ◆ この体験でひとつのことを決めるのは大変なんだとわかりました。そのためにはみんなで決めたことに従うことも必要なんだと改めて気づきました。
- ◆ 被告人被害者それぞれの証言を偏った聞き方をするのはいけないと思う。初めて分かったことは先入観をもって偏見を持った考えで最初から有罪・無罪を決めることはいけないことで、それぞれの意見をしっかり聞くことが大切であることがわかった。
- ◆ 資料に書いてあることだけでなく、いろいろな人に質問すると疑問に思っていたことが解決したりして、質問などをすることは大切だなと思いました。有罪・無罪を決めることはとても難しかったです。同じ無罪でもいろいろな理由があっぴびっくりした。
- ◆ 模擬裁判をやってみて最初有罪だと思ったけど、大体の罪が無罪という結果だったのが裁判をやると思いはわかるものなんだと驚きました。
- ◆ 一番感じたことはむやみに有罪にしてはいけないということです。今回の事件は、証拠は結構あったけど決定的なものがなく、無罪という判決になって、最初は納得しなかったけど、あとあとこれ

でよかったのかな～と思いました。また、何度も人を裁いている方々ではなく、あえて裁判員が判決を下すことで、常識的な感覚で善悪を判断できるんだなあと思いました。

- ◆ よく考えないとちゃんと筋の通った結論がでない。→弁護士の言っていることも、検察官の言っていることも両方とも正しく聞こえるので、自分の感情に左右されないようにするべきだと思った。適当に結果を出してしまうと、被告人のその後の人生が大きく変わってしまうので、正しい判決を下すことが重要だと感じた。
- ◆ 裁判官・裁判員が座る席は法廷全体を見渡せる。法服のボタンは内側にとめる特殊なつくり。弁護側の証人は主に弁護人に、検察側の証人は検察官に質問攻めにされる。
- ◆ 被告人は黙秘権があるのに全ての質問に答えていた。被告人自身のことは被告人よりも弁護士の方が多く語っていた。
- ◆ 裁判をするにあたって順番があることに気付いた。検察官が被告人に容赦なしで質問をしていることに驚いた。証人が証言する前に宣誓文を読むのに気付いた。
- ◆ 気が付いたことは証人も自分が話す時まで、傍聴する側にいていいということです。もう一つは判決するのに全員で話し合う時間をとることです。あと、話を聞いていて、被告人だけが悪いのではなく、無理やり言わせようとする警察官も悪いのではないかと思いました。
- ◆ わかったことは、被告人が自白調書で自分の犯行を認めたのに裁判でもう一度聞くことです。

☆ メッセージや感想を書いてみよう！

- ◆ 自分は今まで、裁判とかすごく重いイメージがあったけど、無実の人を救うという所ではすごい良いなと思いました！イメージが変わりました。
- ◆ 証拠なくて、感情的なので、最後は決まりました。頑張ってください。
- ◆ 被告人の人などの演技がうまくて本物の裁判をみているようで楽しかった。
- ◆ とても楽しくて勉強になりました。あつという間でした。とても面白かったです。ありがとうございました。
- ◆ 最初から無罪だと思っていたけれど有罪だと思う人もいるんだと思いました。
- ◆ 実際に模擬裁判をやってみて人を有罪にするにはそれなりの理由や証拠が必要だったので人を有罪にすることは難しいと思った。
- ◆ 模擬裁判を傍聴している際、検察官の主張、弁護人の主張をそれぞれ聞いて有罪か無罪かとても迷いました。また、それぞれの役の演技がうまいので先の校外学習（訪問先：東京地裁）の本物の裁判に似ていて、実際に裁判員になったような経験ができました。僕たちが成人し、裁判員に選出される可能性があること、また裁判員になったらどうなるのか、などの多くの知識を深めることができました。これからも裁判員制度の講義を頑張ってください。
- ◆ とても楽しく貴重な経験でした。できればもう一度やりたいです。
- ◆ 貴重な体験をしてよかったと思う。あと冤罪がなくなればいいと思う。99.9%の壁を壊してほしい。
- ◆ 裁判は堅苦しいイメージだったけど、しっかり事件の内容をきいて、みんなと話し合っただけで無罪か有罪かを決めるのは被告人には申し訳ないけれど楽しかったです。
- ◆ 実際の裁判かのような緊急感のある裁判で具体的な流れ等がわかった。
- ◆ 今回の裁判でいろいろな事を学びました。ありがとうございました。
- ◆ すごく楽しかったし、ためになりました。被告人や証人役の方が役者さんとかなのかな？と思っていたら普通の方だったのでびっくりしました（笑）鈴木シゲオさんが本名だったのもびっくりでした。今日は模擬裁判だったし人数も多かったからみんなたくさん質問したけど、実際の裁判員裁判ではこんな質問していいものなのかな？と少し疑問に思いました。来ていただいてありがとうございました！
- ◆ 自分も大人になったら裁判員に選ばれたいなと思いました。
- ◆ 裁判を“見ること”はできますが、“体験すること”はなかなか貴重な経験をさせていただいて、誠にありがとうございます。弁護士や裁判官ってカッコいい仕事だなと思いました。進路で前は医者になろうかなと思っていたのですが、弁護士になりたいと思います。本当に貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございます。
- ◆ いろいろな人の考えを聞くことで、いろいろな考えができて、自分の考えも変わってきて、裁判が楽しいなと思えました。初めての経験ができてよかったです。
- ◆ 実際に裁判員になれて楽しかったです。自分が他人の判決を決めることは一歩間違えるとその人の人生をめちゃくちゃにしちゃうかもしれないから、慎重に決めないといけないんだなと思いました。
- ◆ それぞれが自分の意見を述べていて、その中でも違うことを言っていたり、誰が本当のことを言っているのか、正直わかりませんでした。けれど、いろいろな証拠・証言などを組み合わせて考えると、憶測だけれど答えが浮かんだりしました。今回の裁判を通じて物事は一つのものだけみても何もわからないのではないかなと思いました。
- ◆ 裁判員の席に座った。実際の裁判のように少し高くなっていてとてもわくわくした。本当の裁判をしているみたいだった。

- ◆ 有罪か無罪かきめるのがとても大変だった。弁護士・検察官、どちらの意見にも納得できるから。今回の事件はみんな無罪にしていたけど実際は本当に無罪なのかもわからないと思った。
- ◆ 判決を出す役をしたのが楽しかったです。理由を言ったりするときは緊張したけど、とても良い体験になりました。今まで検察官か裁判官かどちらを目指そうか決めかねていましたが、裁判官になろうと今回の体験を通して決断することができました。
- ◆ 裁判員をやってみて有罪無罪を決めるのは大変だとわかりました。体験してみると裁判についてとても分かりやすかったです。今回は刑事模擬裁判員裁判をしてくださりありがとうございました。わかりやすく裁判について学びました。今日一日本当にありがとうございました。
- ◆ みんなの意見が一致したことに感動した。とても楽しかったです。
- ◆ とても面白かったです。役の人も演技が上手で、また班と話し合うとき、他の人の意見なども聞けて「こういう考えがあるのか」などが知ることができました。
- ◆ 模擬裁判という貴重な体験をさせてもらって、本当に良い経験になった。人ひとりの意見で無罪・有罪が決まってしまうので、言葉って大切だなと改めて思った。
- ◆ 今回はこのような大事な会を開いてくれてありがとうございました。とっても貴重な体験ができました。また裁判員の服を着られたので嬉しかったです。ありがとうございました。
- ◆ この度は素晴らしい体験をさせていただき、本当にありがとうございます。裁判員としてみた裁判は難しいものでした。最後に罪をどうするかは本当に悩みました。しかしとても楽しくありました。
- ◆ 自分も裁判員になるかもしれないので大切な体験でした。答えだすことは難しいですが、全員の意見は国民の意見と同じように従っていかなくてはならないのだと思いました。
- ◆ 今回貴重な体験をさせていただきありがとうございました。体験してみて法律関係の仕事も楽しそうだと思いました。
- ◆ 模擬裁判が本物の裁判をしているみたいだった。体験授業をしたおかげで自分から意見を言えるようになった気がします。また、模擬裁判…いや、本当の裁判に参加したいです。
- ◆ 検察側はもう少し証拠があれば有罪になっていたかも…。相手の目を見ればわかるってすごいと思った。昔話法廷は去年の夏休みに見たのですが、すごく面白かったので、次回作にも期待しています！今回はどうもありがとうございました。
- ◆ 普段体験できないことが体験できてよかった。貴重な体験ができた。ガチンコで有罪・無罪を争うことができて楽しかった。
- ◆ 文面に書いているのと言っているだけなのに話を聞くと無罪に思えてきた。人の言葉はすごいと思った。
- ◆ 有罪か無罪かしっかりとその人に合った判決をするように頑張ってください！
- ◆ この模擬裁判をやって裁判が必要だということがあらためてわかった。
- ◆ 模擬裁判なのに凄い本格的で驚いた。やはり中学生と大人じゃまったく再現度が違うことを実感した。最後に説明された「昔話法廷」を作ったのもそうだし、話自体が面白そうだから今度見てみたい。
- ◆ 初めて模擬裁判をやったが、今まで授業でなんとなくしか学んでいなかったのが、実際に体験したことによってより理解が深まった。
- ◆ 視聴覚ホールも実際裁判と同じようにしたのがとてもリアルだったし、普段できない体験ができて勉強になった。有罪か無罪か決めるのはとても難しい判断で裁判の人はすごいと感じた。
- ◆ 最初とても緊張しましたが、とてもリアルですごいなと思いました。途中私の中で有罪から無罪に切り替わり証人の意見や被告人の話で意見が変わったので、証言がどんなに大事か知ることができました。

- ◆ あまり体験できることではないので、判決を言渡したり、いい体験ができて本当によかったです。
- ◆ 今回の事件で私は始め被告人は有罪だと思っていました。しかし班の人が皆無罪だったので、意見を交換したら班の皆の意見がまとまり、無罪という結果が出ました。話し合いで自分の新たな考えが出てきたのでまとまることができました。貴重な体験ができたので良かったです。
- ◆ いつか裁判員裁判の一員として選ばれたときにどうすればいいかわかりました！自分の疑問に思ったことを聞けることがとてもいいと思います。楽しめました。
- ◆ 今回刑事模擬裁判員裁判の体験授業ができてよかったです。ありがとうございました。
- ◆ 私は始め有罪だと思っていたけれどみんなと話すうちに新しい意見がでてきて無罪だと思いました。なのでこの体験はすごく有意義なものになったと思います。
- ◆ 初めて模擬裁判をやってみて自分の意見を持つことは大切で、だからといって自分の考えを無理やり共有するのではなく、互いの意見を尊重しあうことが大切だと思った。良い経験できてよかったです。
- ◆ 模擬裁判を体験してたくさんのことを学べた。証人が証言をする時は、嘘をついてはいけないということを学べた。裁判や検察官に興味を持った。
- ◆ 資料にまとめてくださってありがとうございます。同じ意見でもいろいろな理由があって裁判にも答えがないということにびっくりしました。これからも頑張ってください。
- ◆ 模擬裁判をやってみて質問とかもできたり、判決も言渡せたのでよかったです。機会があったら本当の裁判をもっと見たいと改めて思います。
- ◆ 事前授業でみたドラマのように裁判員に選ばれて大変なこともあると思いますが、今回実際体験してみて、すごく良い経験になったと感じています。裁判員になることで犯罪を見つめなおすだけでなく、心の中の善悪の基準についても考えられると思います。大人になったら実際に裁判員になりたいです。素晴らしい授業ありがとうございました。
- ◆ 全員が有罪だといえばその人はたとえ無罪だとしても負うはずのない罪を負わなければいけないことに、裁判の重さを感じた。テレビなどでもたくさん報道されていて、大変だとは思っていたけど、ここまで頭を悩ませて結論を出すのが難しく、楽しかったです。
- ◆ 今回この様な体験が実際にできてよかったですと思います。事前授業でみた動画や実際に体験してみてわかったことや、どのような内容を言うのか、初めて知れたことがたくさんありました。今日学んだことをテレビなどで裁判の様子が出たら実際の位置や、どんな内容なのか考えてみようと思いました。

